

# 2018年今年も工藤日出夫の活動にご理解いただき感謝です

平成最後の師走です。今年も残り少なくなりました。この一年、工藤日出夫の議会活動・政治活動に過分にご理解・ご支援いただきありがとうございました。

今年は、一昨年からの「新庁舎等の公共工事の調査特別委員会（100条委員会）」の調査に没頭し、報告書にまとめました。二度とこのようなことが起きないよう、現王園市長に再発防止策（地方公務員法等コンプライアンスの強化等）と損害賠償請求の勧告をしました。1年8カ月に及んだ調査でしたが、私にとってはかけがえのない経験となりました。

さて4年前の年末は、人口減少、借金の増額、消滅可能性都市の公表などで「北本市が危ない！」と、強い危機感を持って年末を迎えていました。その危機感は、市長が代った4年後の、今年の年末も同じ気持ちでいなければならないことに、議員として「悔い」と「反省」をしています。

来年は、4月に統一地方選挙（市長・市議・県議）、夏には埼玉県知事と参議院選挙と、北本市の、埼玉県のそして日本の未来を決める、大変重要な選挙が行われます。市民のみなさまの判断が、皆様の明日、子ども若者の未来を決定します。ぜひ投票所に足を運び、大切な1票を投じてください。

今年一年お仕事に、余暇に、家庭の維持に、子育てにお疲れまさまでした。来年も、みなさんにとって健康で、お幸せな一年になるようお祈りいたします。

北本市議会議員 工藤 日出夫

## 12月議会閉会 市長の再選出馬受け保守系議員含め議会荒れ模様の印象

平成30年第4回定例議会が、12月14日閉会しました。今議会は、これまでと議場の雰囲気が一転した印象が強かったです。これは、11月21日の市長記者会見で「来年4月の市長選挙に、再選目指して立候補を表明した」ことが影響していると思われました。これまで、穏やかな発言が多い保守系の議員数人が、言葉を荒げ市長のこれまでの政治姿勢を厳しく指弾しました。中には、再選を指示できないとか私利私欲とか、思いがけない言葉が出ていました。

私たち会派は、石津市長時代から続く市政の混迷と停滞を打破するには、事実に基づかない「盲信的」政策推進から、事実を確認した「選択と集中」に変え“市政のイノベーション”を進

めるリーダーを求めています。現王園市長が、再度この難局を突破する決意を証明したことに大なる期待と敬意をもって、保守系議員の一般質問（再選に向けた決意）を注視しました。

### 再選決意聴き期待しぼむ

特に、長期的に先送りされ続ける難しい課題である「公共施設・インフラの統廃合再編（維持費負担が大きい）」、「久保区画整理事業の再編（今後さらなる税金投入）」、「人口減少と財政基盤の整合性（入りに応じた出）」、「公共投資と民間投資の融合で新しい産業創出（民間等の誘発で新規事業）」、「人材育成と活用（ここが勝負どころ）」といった政治理念や基本方針に期待し

たが、全く触れことはなく、ホテルの誘致や農業施設のリニューアル、意味不明の稼ぐまちといった、些末な事業を書いた原稿をつっかえ、つっかえ棒読みする答弁から、長年続く低迷から脱皮する情熱や決意、展望は感じられず失望とともに、期待がしばみしました。

質問者が声を荒げる気持ちだけが理解できました。市の監査委員が、新庁舎の工事をもとに石津前市長の不適切な事務執行を報告、それを正して新しい北本市をつくるべき現王園市長が、それをしないまま「再選したら新しい北本をつくる」と決意を述べていましたが、この任期中に取組まなかった現王園市長に、次の期待はできないという議場の雰囲気は納得できます。

再選したら桜国屋に数億円（5億円とも）の税金でリニューアルすると言っています。子育てや医療・介護にお金が必要なときです。市民のみなさんはどうお考えになりますか。正念場です。



北本市議会議員 工藤日出夫議会レポート 第149号 (2018.12)

# くどうひでお



四輪クドウが行く

発行:工藤日出夫好縁会広報部 北本市東間5-90サンマンション北本1-507

電話:048-542-3725 (携帯:090-4610-0226) FAX:543-7789

E-mail:h-kudo@mtd.biglobe.ne.jp ホームページ:http://www.kudohideo.jp/